

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



豚コレラ及びアフリカ豚コレラの侵入対策を徹底しましょう

昨年9月に、日本において26年振りに発生を確認して以降、岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、大阪府で豚コレラの発生が確認されています。また、近隣諸国では豚コレラ及びアフリカ豚コレラの発生が継続しており、侵入リスクが非常に高い状態が続いています。

衛生管理を徹底しましょう

- ① 関係者以外の農場への立入を禁止
- ② 農場(畜舎)へ出入りする際には、消毒を実施
- ③ 飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理を実施

水で汚れを落とすあとに消毒しましょう!

豚コレラ

特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害、死流産等、異常を発見したら直ちに家畜保健衛生所に通報をお願いします。



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

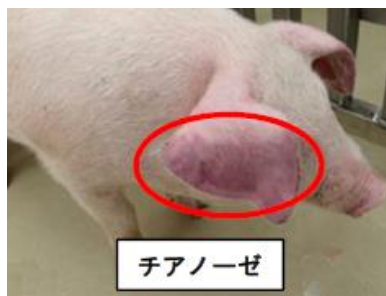
重症例は、後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(尾翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

アフリカ豚コレラ

症状は多岐にわたり、甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。異常を発見したら直ちに家畜保健衛生所に通報をお願いします。



死亡



チアノーゼ

甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。また、豚コレラと異なり、ワクチンは存在しない。

阿蘇くまもと空港で肉製品の持ち込み禁止を啓発しました

1月末に韓国で口蹄疫が再発し、また中国全土ではアフリカ豚コレラ（ASF）が継続的に発生しており、これまでに中国からの入帰国者が持ち込んだ下表の11件の肉製品からASFウイルス遺伝子が検出されています。これを受け、県は2月5日（火）に動物検疫所、熊本県養豚協会、熊本県畜産協会と共に、韓国からの到着便及び台湾への出発便搭乗客に向けて肉製品持ち込み禁止の広告を入れたティッシュを配布し、注意喚起を行いました。

	持込まれた肉製品	重量	採取場所
1	豚ソーセージ	1.5kg	新千歳空港
2	自家製餃子	0.4kg	羽田空港
3	豚ソーセージ	2.5kg	成田空港
4	自家製豚ソーセージ	0.6kg	中部空港
5	豚ソーセージ	1.3kg	中部空港
6	豚鶏混合ソーセージ（市販）	0.5kg	中部空港
7	豚ソーセージ（市販）	0.1kg	羽田空港
8	ソーセージ	0.3kg	関西空港
9	豚肉燻製	1.5kg	成田空港
10	ソーセージ	1.4kg	福岡空港
11	ソーセージ	0.65kg	福岡空港



↑ ティッシュを配布する様子

← 配布したティッシュ（広告入り）

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫	○型	ロシア（9件）	豚・山羊・羊	平成31年1月28日～2月12日
アフリカ豚コレラ		中国（8件）	豚	平成31年2月8日 ～平成31年2月27日
		ベトナム（3件）	豚	平成31年2月1日～2月17日

平成31年3月1日時点



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

